



第20期 中間事業報告書
2003年10月1日～2004年3月31日



Interim Report
2004



To Our Shareholders

株主の皆さまへ

製薬業界をはじめ
広く健康を支える産業をサポートし、
付加価値を創生するCROを目指します。



代表取締役会長兼社長CEO
中村 和男

株主の皆様には、日ごろより格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループは、「EBM（科学的根拠に基づいた医療）の確立に貢献する企業」を企業理念として、より良い薬をより早く患者さんのもとへ届ける手助けをしています。当社グループが属するCRO（医薬品開発受託機関）業界は、臨床試験の規模の拡大と効率化を追い風に、臨床試験支援業務の受託量とその業務範囲を拡大しております。こうした市場拡大に加え、国内外の顧客から新薬開発支援業務の受託拡大に努めました結果、当社グループの当中間期の売上高は、49億5百万円（前年同期比18.4%増）、経常利益5億5百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

今後ともモニタリング業務を中心に、データマネジメント業務、CRO業務及び薬事コンサルティング業務・その他において受注拡大に努め、業容の拡大を目指します。通期の見込みは当初計画を上方修正し、連結売上高106億52百万円（前期比24.8%増）、連結経常利益11億97百万円（前期比22.9%増）を見込んでおります。

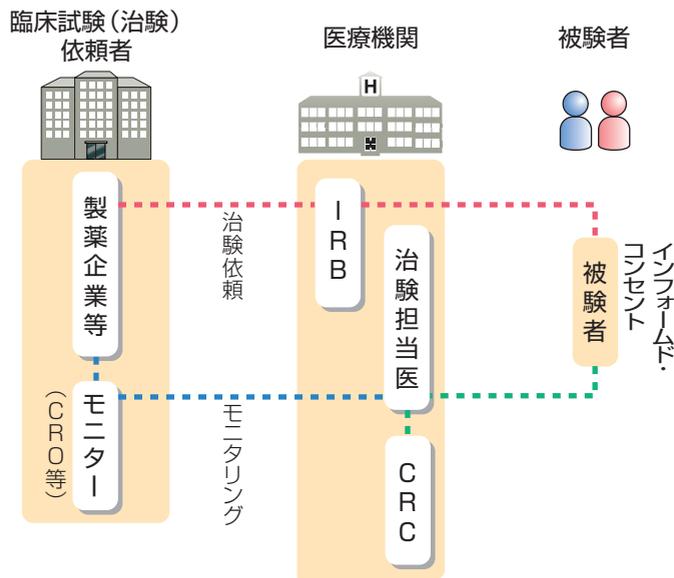
業界における当社の強みとは、医薬品開発に関する総合的な支援体制を整備している点にあります。これは薬事コンサルティング業務において、国内外の製薬企業に創薬から新薬申請、販売まで、医薬品に係る全般的なコンサルティング業務をこなしてきた実績があるためです。コンサルティング業務においては医薬品開発全般に関する知識と理解を必要とし、そのノウハウは当社グループのモニタリング業務を始めとする様々な業務において活用されております。当社グループは臨床試験におけるモニタリング業務やデータマネジメント業務等を中心とした受託専門企業としての事業展開のみならず、臨床試験の場となる医療機関においてその臨床試験を支援するクリニカルリサーチコーディネーター業務等を行っております。

さらにCROとして初めて、腎疾患の進行を予測するL-FABP診断薬の開発を開始しました。これは当社が第三世代と位置付ける付加価値の高いビジネス、知的財産の開発プロジェクト第一号となります。また、株式会社ベルセウスプロテオミクスと共同で動脈硬化の診断薬を開発することで合意しております。

当社グループは、医薬品受託機関であるCROから製薬企業が直面する問題の解決策を提供するソリューションプロバイダー、さらには付加価値創生型のビジネスモデルへの進出へと事業展開を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

臨床試験(治験)の基本構図



品目別概要 (受注高の状況)

● モニタリング業務

前年同期比 **143%** ↑

臨床試験の依頼者より指名されたモニターが、臨床試験の進捗状況を調査し、試験が国際基準であるGCPに基づき、治験実施計画書等に従って実施、記録及び報告されていることを随時確認し、それらのデータを収集する業務。さらに、承認審査における査察に対応できるよう行動記録の作成・保管を行う業務

● データマネジメント業務

前年同期比 **22%** ↑

モニターあるいは医薬情報担当者(MR)が試験責任医師から入手した臨床試験の症例報告書(CRF)の記載内容をコンピュータを利用してデータベース化し、統計解析処理する業務。また、医薬品の有効性及び安全性について、データマネジメント業務を通じて作成されたデータベースを用いて統計学的検討を行う業務

● CRC業務

前年同期比 **56%** ↑

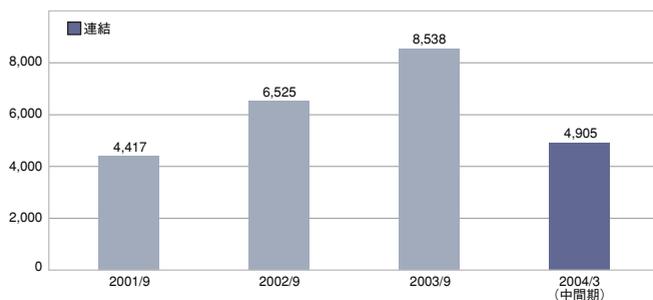
臨床試験の質の確保と円滑な実施のために医療機関において医師の指導の下、被験者選択、被験者の同意書(インフォームド・コンセント)取得補助、被験者の登録、被験者のケア等を行う業務。また、被験者募集の際、コールセンターを設置し応募者が臨床試験の対象に該当するかを確認し、臨床試験への参加登録を補助する業務

● 薬事コンサルティング業務・その他

前年同期比 **200%** ↑

医薬品開発申請書類の作成支援及び医薬品、医療機器、特定保健用食品の開発から申請、発売におけるコンサルティングサービスを提供する業務。その他業務は、製薬・医療産業に特化した人事組織開発及び人材派遣業務等の提供、韓国の子会社、中国の駐在員事務所でのアジア展開

連結売上高



財務データ

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科 目	当中間期 (2004年3月31日現在)	前中間期 (2003年3月31日現在)	前 期 (2003年9月30日現在)
資産の部			
流動資産合計	4,950,231	4,685,973	4,816,254
固定資産			
有形固定資産	415,097	395,487	297,097
無形固定資産	128,095	150,995	129,948
投資その他の資産	599,806	378,829	431,614
固定資産合計	1,142,999	925,313	858,661
資産合計	6,093,231	5,611,286	5,674,915

(単位：千円)

科 目	当中間期 (2004年3月31日現在)	前中間期 (2003年3月31日現在)	前 期 (2003年9月30日現在)
負債の部			
流動負債合計	2,006,695	1,664,727	1,604,263
固定負債合計	251,409	369,278	305,109
負債合計	2,258,104	2,034,005	1,909,372
少数株主持分			
少数株主持分	18,761	—	21,457
資本の部			
資本金	1,216,060	1,216,060	1,216,060
資本剰余金	1,461,370	1,461,370	1,461,370
利益剰余金	1,138,257	898,397	1,066,294
為替換算調整勘定	676	1,453	360
資本合計	3,816,364	3,577,280	3,744,084
負債・少数株主持分及び資本合計	6,093,231	5,611,286	5,674,915

グループ子会社(連結子会社)



シミックCRC株式会社
CRC業務

医療機関における臨床試験支援業務を行っております。



株式会社シミックエムピーエス
マーケティングコンサルティング業務

営業マーケティング活動受託機関として、製薬会社等の医薬業界におけるマーケティング戦略立案などの支援を行っております。



株式会社シミックBS
人事組織開発支援業務

製薬・医療業界に特化した人事組織開発及び人材派遣業務の提供を行っております。



株式会社シミックアカデミックデータセンター
医師主導の臨床研究支援業務

医師主導による自主的な臨床研究の支援業務を行っております。



PCN株式会社
Webを利用した情報提供業務

株式会社NTTデータとの合弁により設立。被験者募集及びITを利用した情報提供業務を行っております。



CMIC Korea Co., Ltd.
アジア展開拠点

アジアにおけるCRO事業の拠点として、事業の推進・強化に努めております。

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期 (2003年10月1日から 2004年3月31日まで)	前中間期 (2002年10月1日から 2003年3月31日まで)	前 期 (2002年10月1日から 2003年9月30日まで)
売上高	4,905,815	4,143,562	8,538,740
売上原価	3,457,098	2,788,543	5,777,809
売上総利益	1,448,717	1,355,019	2,760,931
販売費及び一般管理費	940,838	881,050	1,788,306
営業利益	507,878	473,968	972,624
営業外収益	5,236	7,874	15,328
営業外費用	7,967	9,249	12,984
経常利益	505,147	472,593	974,968
特別利益	—	—	251
特別損失	119,263	1,055	90,828
税金等調整前中間(当期)純利益	385,884	471,538	884,392
法人税、住民税及び事業税	261,317	300,373	544,424
法人税等調整額	△ 47,526	△ 80,202	△107,796
少数株主損失	2,696	177	1,314
中間(当期)純利益	174,789	251,544	449,079

中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期 (2003年10月1日から 2004年3月31日まで)	前中間期 (2002年10月1日から 2003年3月31日まで)	前 期 (2002年10月1日から 2003年9月30日まで)
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	1,461,370	1,461,370	1,461,370
資本剰余金中間期末(期末)残高	1,461,370	1,461,370	1,461,370
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	1,066,294	726,792	726,792
利益剰余金増加高	174,789	251,544	449,079
利益剰余金減少高	102,825	79,940	109,578
利益剰余金中間期末(期末)残高	1,138,257	898,397	1,066,294

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期 (2003年10月1日から 2004年3月31日まで)	前中間期 (2002年10月1日から 2003年3月31日まで)	前 期 (2002年10月1日から 2003年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	401,660	309,095	439,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 343,342	△ 245,865	△ 379,608
財務活動によるキャッシュ・フロー	129,738	△ 218,454	△ 316,848
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,604	△ 270	△ 1,708
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	185,450	△ 155,494	△ 258,690
現金及び現金同等物の期首残高	2,506,942	2,765,632	2,765,632
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,692,393	2,610,138	2,506,942

財務データ

中間個別貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当中間期 (2004年3月31日現在)	前中間期 (2003年3月31日現在)	前 期 (2003年9月30日現在)
資産の部			
流動資産	4,322,106	4,248,957	4,252,562
固定資産	1,372,400	1,181,989	1,159,914
資産合計	5,694,507	5,430,946	5,412,480
負債の部			
流動負債	1,547,394	1,453,639	1,302,770
固定負債	205,844	337,402	267,219
負債合計	1,753,239	1,791,042	1,569,989
資本の部			
資本金	1,216,060	1,216,060	1,216,060
資本剰余金	1,461,370	1,461,370	1,461,370
利益剰余金	1,263,837	962,474	1,165,060
資本合計	3,941,267	3,639,904	3,842,490
負債・資本合計	5,694,507	5,430,946	5,412,480

中間個別損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期 (2003年10月1日から 2004年3月31日まで)	前中間期 (2002年10月1日から 2003年3月31日まで)	前 期 (2002年10月1日から 2003年9月30日まで)
売上高	3,476,467	2,915,229	6,144,199
売上原価	2,468,415	1,975,855	4,148,137
売上総利益	1,008,051	939,374	1,996,062
販売費及び一般管理費	580,714	517,000	1,063,060
営業利益	427,336	422,373	933,001
営業外収益	32,923	57,745	67,006
営業外費用	4,078	2,826	7,589
経常利益	456,181	477,292	992,418
特別損失	108,006	1,055	75,122
税引前中間(当期)純利益	348,174	476,237	917,295
法人税、住民税及び事業税	184,612	262,305	480,746
法人税等調整額	△ 23,040	△ 53,342	△ 62,950
中間(当期)純利益	186,602	267,274	499,498
前期繰越利益	269,534	137,499	137,499
中間(当期)未処分利益	456,137	404,774	607,360

L-FABP診断薬の自社開発

シミックは腎疾患の進行を予測するL-FABP診断薬の開発を開始しました。これは当社が第三世代と位置付ける付加価値の高いビジネス、知的財産の開発プロジェクト第一号となります。この診断薬に関する国内外の特許については、製薬企業から全世界での独占的なライセンスを受けており、当社で開発・承認申請を行った後、最終的には第三者に販売権を付与するビジネスモデルです。このビジネスモデルでは、新たにロイヤリティ収入が期待できます。



ペルセウスプロテオミクス社と動脈硬化診断薬の共同開発

シミックは(株)ペルセウスプロテオミクスと、動脈硬化の診断薬を共同開発することで合意しました。最初のプロジェクトとして、動脈硬化の新しいマーカーとして期待される、ペントラキシン3 (PTX3) と呼ばれるタンパク質に対する診断薬キットの開発を行います。ペルセウスが製造を担当し、シミックがCROとして医薬品開発を行ってきた経験を活かし、治験・承認申請を担当します。両社の機能を補完し合い、有用な診断薬を短期間で上市することを目指します。

※(株)ペルセウスプロテオミクスは、東京大学先端科学技術研究センター等の研究成果を実用化するために平成13年2月に設立されたベンチャー企業です。

本社移転と中国、北陸支社の開設

当社グループは、事業拠点の集中により業務効率の向上を図るため、2004年1月18日に本社移転をいたしました。また、地域の医療機関との連携を深めるため、2004年4月広島県広島市に中国支社を、石川県金沢市に北陸支社を開設いたしました。



本社ビル 東京都品川区

会社概要 (2004年3月31日現在)

商号 シミック株式会社
設立 1985年
資本金 1,216,060千円
本社所在地 〒141-0031
東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル

従業員数 798名
(連結) 174名 (平均臨時雇用者数)

事業所 北海道支社 東北支社 北陸支社
名古屋支社 大阪支社 中国支社
九州支社 CMIC China (北京駐在員事務所)

グループ会社 (連結子会社)
シミックCRC(株) (株)シミックBS
(株)シミックMPSS (株)シミックADC
CMIC Korea Co., Ltd. PCN(株)

役員 (2004年3月31日現在)

代表取締役会長兼社長	中村和男
取締役副社長	市川宏司
取締役副社長	中村紘
専務取締役	中村圭子
専務取締役	安田利正
取締役	詫摩直也
監査役(常勤)	中野信介
監査役(非常勤)	長井チエ子
監査役(非常勤)	酒井繁

シミック株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-10-4 金剛ビル
Tel 03-5745-7070 (代)
Fax 03-5745-7077
<http://www.cmic.co.jp/>

株式の状況 (2004年3月31日現在)

株式データ

会社が発行する株式の総数 2,300,000株
発行済株式総数 673,600株
株主数 1,729名

大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社アルテミス	315,010	46.76%
中村和男	94,540	14.03%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	73,570	10.92%
みずほキャピタル株式会社	17,600	2.61%
シミック従業員持株会	17,140	2.54%
中村圭子	16,440	2.44%
資産管理サービス信託銀行株式会社	16,120	2.39%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	15,950	2.36%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505030	7,900	1.17%
市川宏司	7,000	1.03%

(注) 1. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下第3位を切り捨てております。
2. 上記株主の所有株式数のうち、信託業務にかかる株式数は次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	73,570株
資産管理サービス信託銀行株式会社	16,120株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	15,950株

株式メモ

決算期日 毎年9月30日
定時株主総会 毎年12月
配当金受領の株主確定日 9月30日
中間配当を実施するときは3月31日

基準日 毎年9月30日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

公告掲載紙 日本経済新聞
決算公告に代えて貸借対照表および損益計算書を当社ホームページに掲載しております。
<http://www.cmic.co.jp/>

名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問合せ先 電話 (03)5213-5213 (代表)

同取次所 みずほ信託銀行株式会社
全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店